

【文系/公募推薦】

	1年次	2年次	3年次
進路志望	文系 志望校 あり	文系 志望校 あり	文系 志望校 あり
模擬試験	あり	あり	あり
学校補講	あり	あり	あり
進路指導室利用	あり	あり	あり
塾利用	あり	なし	なし
オープンキャンパス	1回	0回	0回
オーキャン個別相談	あり	なし	なし
履修登録時、 気にかけてしたこと	国立の文系で決めていたので、何が必要か何度も担任の先生と顧問の先生と先輩に話しを聞いていた。親は、決定事項だけ聞いた。	同じく、1年次国立と決めていたので、2・3年次で取る授業は大雑把には決まっていた。ただ、他に習いたい授業もあって何を削るか悩んだ。	国立は取らなければならぬ授業が多いので、削れる授業を探すのに苦労していた。習いたい授業が他にあったようだが、諦めていた。
受験対策	この時はS大と決めていたが、万が一を考えてとりあえず定期テストを頑張っていた。4・3以上を取る事にこだわっていた。	1年次の時に通っていた塾を意味がないと辞めて、スタディサプリの合格特訓コースに変えて自分のペースで勉強するようにした。	スタディサプリ、一色でそこに沿った問題集を買い込み、センターに向けて勉強した。公募に決めても、ほとんどの人が落ちるので、落ちるものと思いながら勉強をした。
受験方法の 決め方 (なぜ一般にした のか等)	3年次の夏までは一般で受ける予定だった。S大の教育学部の国語は2人しか受からない為、先生からも難しいと言われていた。小論文などに時間を割いてセンターの勉強をおろそかにすると後が怖いと思い、ほとんど小論文の為の時間を作らず、小論文はスタディサプリのスタッフに採点とアドバイスを頼んだ。「どうしてもその学校に行きたいのであれば2回チャンスがあると思って、チャレンジしてみたらどうか」と公募を薦めた。小論文にも面接にも時間ももたないから積極的ではなかった。実際、会場に行ってみるとセンター受験の為に問題集を持っていったのだが、ほとんどの人が面接の為にテキストを読んでいたので「一瞬後悔した。」と言っていた。		
合格への勉強法	最初は塾に通っていた。だが、時間の拘束のわりに結果がついてこないと言い、2年次に上がる前に辞めてスタディサプリ合格特訓コースを始め、その時に担当になってくれた京都大学の学生が親身になってくれ随分成績が上がった。その頃から勉強のやり方が固まっていた。スタディサプリで好きな講師ができて、その講師の問題集を買い込んでひたすら問題を解いた。分からないと動画を見て、それでも分からない時は担当の方にチャットで解き方を聞いていた。書かないと覚えないので 動画の講義を見てノートをまとめて問題を解いてを繰り返していた。ノートはルーズリーフで全教科を一冊でまとめていて 本人はこの一冊さえあれば教科書もいらぬ、「黄金ノート」と言っていた。		

＜進路委員会より＞

今回、ご協力いただきました卒業生の保護者の皆様には、お忙しい中、貴重なお話を伺うことができました。残念ながら、進路委員のみの参加となってしまいましたが、大変勉強になりました。今後も、北高生徒の皆さん、保護者の皆さまに進路について発信出来るよう活動してまいりますので、企画開催ができるようになりますと、多くのご参加お待ちしております。

